

「剛志学府」だより

第10号 R3.8.15

— 境西中学校学校運営協議会から —

剛志地区目指す子供像 自ら考え、判断し、決定し、行動する子供
剛志地区理想の地域像 「自律」した大人が暮らすまち

今年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、第1回境西中学校学校運営協議会を令和2年6月4日(金)に書面にて開催しました。

☆本年度の境西中学校学校運営協議会委員です。どうぞよろしく願いいたします。

◎：会長 ○：副会長 (敬称略)

氏名	職名等		氏名	職名等	
永井 智子	P T A会計	新規	○ 萩原 裕子	元市教育委員長	継続
茂木 佳代	P T A書記	新規	須藤 容敏	前境剛志小校長	継続
天田 邦男	区長会代表	継続	並木 研二	青少年推進委員	継続
尾高 理恵子	民生・児童委員代表	継続	根岸 千春	境剛志公民館長	新規
佐藤 佳代子	元中学校教諭	継続	岡田 栄治	境剛志小学校長	継続
◎ 石原 國憲	元区長会長	継続	結城 啓之	境西中学校長	新規

事務局 松村 延幸 (伊勢崎市教育委員会) 石井 幹人 (境西中学校教頭)
樋澤 貞治 (境西中学校教務主任) 今 聡子 (境西中学校校務支援員)

第2回は9月24日(金)に開催予定となっております。

弁当の日

今年度の第1回の「弁当の日」は9月15日(水)を予定しております。昨年度同様、食べる時は感染予防対策をとりながら楽しく会食する予定です。弁当の日に向けて、美術部は地元企業と協力し、合作ポスターを作成しています。また、出来上がったポスターを校内や地域の施設へ掲示をしてもらったり、買い物をするとポイントが付加されたりと、まさに地域ぐるみで応援してもらっています。今年度もご協力の程、よろしく願いいたします。

フードドライブ事業への取組について

テーマ ～「もったいない」を「ありがとう」に～

事業の目的

フードドライブとは、家庭で余っている食べ物等を学校や地域・職場に持ち寄り、それらをまとめてフードバンクや地域の福祉施設や団体に寄附する活動です。

食品ロスやSDGs【Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)】の観点から、群馬県でも環境森林部気候変動対策課でフードドライブマニュアルを作成するなど県内に広げる動きがあります。

家庭では、食べきれない・使い切れないなど未利用の食品が保管されたままだったり、廃棄することがある一方で、支援を必要としている人もいます。

剛志学府では、これまでもお弁当の日を設定し、食育に関わる取組をしてきたところですが、地域と学校が一体となってフードドライブ事業に参加することで、食品ロスへ関心を持ち、そ

の削減に繋げることが、身近な取組から助け合いの心を育てること、一人ひとりの小さな行動が社会に役立つことを体験し、自己有用感を高める機会とすることなどを目的としています。



事業の概要(予定)

- 剛志学府として、地域と学校が連携し、フードドライブへの協力の呼びかけ、支援品の回収、フードバンク先への提供までを行います。
- 境西中学校美術部が、フードドライブ開催のチラシ作りを担当し、小学校・中学校・地域の方への周知に活用します。
- 境剛志小学校、境西中学校の児童・生徒には、学校からチラシの配布で呼びかけ、地域の方へは、境剛志公民館だより9月1日号にチラシを掲載し、周知をします。
- フードドライブ開催日は、境西中学校、境剛志小学校、境剛志公民館のそれぞれで設定をします。
 - 境西中学校**：9月15日(水)の体育祭&弁当の日に、境西中生からの支援品の回収を行います。
 - 境剛志公民館**：9月15日(水)～9月18日(土)を回収期間とし、地域の方々から支援品を回収します。
 - 境剛志小学校**：10月2日(土)の運動会当日にPTA役員の協力をいただきながら、保護者からの支援品の回収を行います。
- 回収する支援品は、フードバンクマニュアルを参考にして、食品については、賞味期限が2ヶ月以上あるものを受け付けます。
- 回収した支援品は、境西中生のボランティアと公民館職員とで、仕分け作業(賞味期限の確認・未開封確認・支援品の集計など)を行ったのち、公民館職員がフードバンク先へ搬入します。
- 支援品の提供先は、10月10日(日)にフードバンクを開催する予定の「みんなの家 かがやんち」(伊勢崎市今泉町)とします。



* SDGsは2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標です。